

Title	食品カテゴリーにおける「ネット通販」と「店舗販売」との間での情報源選択と 購買場所選択について
Sub Title	
Author	上田, 奈穂子(Ueda, Naoko) 池尾, 恭一
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2006
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2006年度経営学 第2118号 連絡が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002006-2118

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論文要旨

所属ゼミ	池尾 恭一 研究会	学籍番号	80530164	氏名	上田 奈穂子
(論文題名)					
食品カテゴリーにおける「ネット通販」と「店舗販売」との間での 情報源選択と購買場所選択について					
(内容の要旨)					
<p>インターネットに代表されるデジタル情報技術の発展により、個人や家庭へのデジタル通信端末が急速な勢いで普及している。この動向は、インターネットを利用した通信販売（以下ネット通販）の成長を後押しする要因であることは言うまでもない。</p> <p>しかしネット通販の普及を巡る見解は、この10年でも変わりつつある。すなわち、20世紀末は、インターネットが急速に普及し、デジタル情報技術がもたらす新たな世界の1つとして、ネット通販の爆発的な普及が大々的に予測されていた。この楽観的な予測の基盤には、まず、家庭の情報化が進展するという確信があった。これについては、近年のパソコン、携帯電話などの情報端末や、インターネットの急速な普及率の伸びに示されているように、現代社会において現実のものとなっている。</p> <p>2つ目の基盤として、店舗販売に対する、ネット通販の競争優位に関して、楽観的な確信があった。たとえば、産業構造審議会消費経済部会インターネット通販小委員会の中間報告では、以下の点でネット通販は店舗流通よりも競争優位があるとしていた。①気に入った商品を容易に探すことができる。②ショッピングの時間を節約できる。③商品やサービスの幅がより広がる。④価格が店舗で購入するよりも安くなる。</p> <p>しかしこれらの確信は、デジタル情報技術の発展がもたらす世界のイメージを流通システムに投影したにすぎない。つまり、そこにはネット通販にかかわる消費者行動や企業活動という視点は全く考慮されていなかった。</p> <p>日常食、とりわけ生鮮食品はネット通販には向かない、という通念が広く流布している。なぜならば、生鮮食品には、人間の五感（嗅覚、視覚、味覚、聴覚、触覚）を使い、現物をもって品質や商品を判断する、という購買選好があるからである。とりわけ、日本人にはその傾向が強い。しかし逆の意味で、消費者のネット購買選好の解明が、ネット通販への新たな理解や新しいカテゴリーでの事業機会の創出につながるのではないだろうか。殊の外、ネット通販市場の拡大条件の一つとしても、より幅広い商品カテゴリーの取引を成立させることが、今後ネット通販の成否を分かつ重要な課題に据えられると考える。</p> <p>したがって本論文は、生鮮食品に注目し、ネット通販に向く商品とはどういった特性を持つのかを、消費者行動の視点から調査分析を進める。</p> <p>すなわち、まずネット通販の利用者となる消費者が、インターネットを通じた購買活動に対してどのように反応しようとしているのかを解き明かすことが、未だ混沌としているネット通販の将来を予測する上で重要な鍵となると考える。その上で、店舗販売を営む商業者にとって、ネット通販は従来の流通機能と補完関係があるのか、それとも代替関係あるのかを見据える手がかりとしたい。</p>					